



進路通信

令和7年度

第4号

令和7年6月17日発行

高崎商業高等学校定時制進路担当

進路スケジュール

7月1日は高卒新卒採用「求人票公開」の日

いよいよ来月から本格的な「就職活動」が始まります。4年生は夏休みの間に、気になる会社を求人票から選んで複数見学に行き、応募先を決め、志望動機を考え、履歴書など必要書類を作成し、応募します。

高卒新卒就職のスケジュールはつぎのとおりです。

7月1日 求人票公開開始

「高卒就職情報WEB提供サービス」で公開

企業が求人票持参開始、または郵送で到着開始

～ 8月31日 見学先決定・見学日程調整、会社見学・礼状・報告書作成、
応募先決定、履歴書作成

9月4日 応募書類発送（学校で取りまとめて郵便局に持参）

9月5日 応募書類受付開始（企業側）

9月16日～採用選考の開始～内定

「高卒新卒求人」とは



「高卒新卒求人」とは、卒業学年に在籍する高校生に対して、卒業後の翌年度4月入社採用内定を在学中に出す求人です。通常の求人では採用が決まったらすぐに働き始めるのが一般的ですが、9月に内定が出て働き始めるのは卒業後と決められています。「1人1社制」が有名ですが、その他にも高校生の新卒求人では、学業優先や就職差別の禁止などの独自ルールによって、多方面から生徒が保護されています。さらに、「現段階で何ができるか」という即戦力でなく、

「入社後の伸び代」を期待して採用してもらえるなどのメリットもあります。

ところで、みなさんは「応募条件：高卒以上」とある好条件の一般求人を見て、新卒求人ではなく一般求人に応募したいと思ったことはないですか。しかし、こうした求人は基本的に高校卒業後ある程度の社会人経験がある人などが主なターゲットなので、条件がよければ学歴、経験、年齢を問わず応募が殺到し、「経験不問」の募集であっても「経験者」や「即戦力のある人」から採用が決まっていきます。

在学中は面倒な就職活動をせずにのんびり過ごし、高校卒業後に気が向いてから条件の良い一般求人に応募すれば楽に就職できるだろう、と考えるのは危険です。むしろ、新卒求人を利用して一度は正社員として就職し、何かしらスキルを身に着けるまで働いてから転職する方が、履歴書に空白期間がある人より条件の良い仕事につける可能性は高いでしょう。少なくとも数年間、週に40時間以上しっかり勤務できたという実績、「正社員としてのキャリア」は評価されます。

